※令和３年度以前入学生用

学校番号	3021

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	総合実践	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

総合実践は今までに勉強してきた商業科目群の総まとめ科目です。商業の知識をフル活用して授業に臨むようにしてください。特に１年の簿記とビジネス基礎の知識は重要ですので、忘れているところはしっかり復習しておいてください。授業はグループで行う部分が多くあります。欠席すると授業の内容が分からなくなり、周囲に迷惑をかけることになるので実社会で仕事をしているつもりで健康管理に留意しながら前向きに授業に参加しましょう。日頃から新聞・ニュースに接する習慣をつけ、社会の動きについて意識し、その出来事に対する自分の意見を持つようにしましょう。

2　学習の到達目標

商業の各分野で学んだ知識と技術を実践的体験的な活動を通して、マーケティング能力、会計活用能力、情報活用能力および分野を横断した総合的な知識・技術を習得させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や売買業務の効率的遂行について関心を持ち、主体的に学習に取り組むとともに社会人として望ましい心構えや態度を身につけている。	ビジネスの様々な場面における適切なコミュニケーションの方法やオフィスにおける合理的な業務方法を、基礎的な知識をもとに自ら考え工夫するとともに、その成果を的確に表現することができる。	社会人として望ましい心構えやビジネスマナーを身につけ、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的な業務を実践することができる。	ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や適切な方法、オフィス業務について基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネスコミュニケーションやオフィス業務の重要性を理解している。
評価方法	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌 課題	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	指定取引	ビジネスマナー 取引文書の作成 代金の支払い 会計処理 見本用冊子作成	○	○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	a: 顧客対応や商業の基本的なカネとモノの流れに関心を持ち、前向きに業務に取り組む。 b: ビジネスの様々な場面において必要とされる各種マナーやコミュニケーションの方法を正しく判断し、表現することができる。 c: 各種文書・帳簿を正しく作成・記帳できる。支払手段として小切手・手形および銀行振込の作成・処理を行うことができる。 d: 作成する見積依頼書から領収証に至る通信文書の役割を理解している。記帳する振替伝票および各種補助簿の必要性を理解している。	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌 課題
2学期	自由取引	取引計画 販売促進 仕入取引 販売取引	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 期待される利益を意識しながら取引計画を立て、それに基づいて適切かつ前向きに取引を進める。 b: 実際に行った取引について各種財務諸表を作成することにより現在の会社の資産価値や今年の経営成績を正しく伝えることができる。 c: 作成すべき各種帳票について正しく記帳する能力を有する。 d: 作成すべき各種帳票が指し示す意味を理解している。当期利益・商品回転率・利益率・原価率等実社会で重要視される指標について意味・必要性を理解している。	定期考査 会計諸帳簿 各種書類 日誌 課題

※令和３年度以前入学生用

3学期	決算	合計残高試算表 棚卸表 精算表 貸借対照表 損益計算書 財務諸表分析	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○	a: 今まで行ってきた取引の総括としての決算の重要性を把握し、会計の知識を総動員して帳票の作成・財務分析を行う。 b: 実際に行った取引について各種財務諸表を作成することにより現在の会社の資産価値や今年の経営成績を正しく伝えることができる。 c: 作成すべき各種帳票について正しく記帳する能力を有する。 d: 作成すべき各種帳票が指し示す意味を理解している。当期利益・商品回転率・利益率・原価率等実社会で重要視される指標について意味・必要性を理解している。	定期考査 会計諸帳簿 日誌

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。